



ゆうすい

ふれあいネットワーク

ボランティアセンターだより

●編集・発行／社会福祉法人 湧水町社会福祉協議会 ボランティアセンター
本所：TEL 75-2200 FAX 75-2756 事業所：TEL 54-1699 FAX 74-4980

令和3年11月1日発行



栗野小学校



上場小学校



栗野中学校

福祉体験学習

福祉体験学習

社会福祉協議会では、町内の小中学校へ出向き、児童・生徒の福祉教育の一環として福祉体験学習を行っています。

6月16日に栗野小学校4年生、7月6日に上場小学校3,4年生、9月29日に栗野中学校1年生がそれぞれ介護・福祉体験学習を行いました。アイマスク体験や車いす体験を通して、福祉に関する理解を深めることを目的として、更に、中学生は実際の介護に必要な知識や技能の習得を目指し、児童・生徒の皆さんのが熱心に取り組む姿が見られました。

体験学習を通して

《栗野小学校》

車イスに乗ったり、アイマスクをつけたりして、しようがい者の苦ろうや不安がよく分かりました。もし、こまっているしがい者がいたら助けてあげたいです。

(大山
暉璃)

車いすでは、おすとき、だんさかつたので、むづかしかつたです。

アイマスクでは、知ってる場所でもきよりかんがよくわかりませんでした。なので少しこわかつたです。車いすたいけん、アイマスクたいけん、どちらもだれかがいなといと生活がうまくできないということが分かりました。目のふじゆうな人、車いすでこまっているひとがいたら声をかけたいです。

(上水流
暉)

いたらおじてあげようと思いまし
た。

(福永
稀月)

今回の学習の中で車いすをもちあげる時、ぼくはおちそうでこわかつたけど横のてすりをつかむと少し安心しました。アイマスク体けんは、マスクをしていたらだんさの所でこけそうでこわかつたけど、目のみえない人は、もっとこわいなあと思いました。

(山下
廉心)

《上場小学校》

今日の2時間目にふくし体験がありました。ぼくは、はじめて車いすにのりました。車いすにのるのは、楽しかったです。車いすをおすときは、「曲がりますよ。」とか「動きますよ。」などの声かけがいちばん大切だと思いました。

(上野
雄聖)

わたしは今回の学習で、目がふじゆう人のこわさや車いす生活のたいへんさを学びました。これからは、目がふじゆう人を案内したり、車いすに乗っている人が

ふくし体けんをしました。車いすにのるのは、かんたんだっただけれど、アイマスクをつけてかいだんをあがつたりおりたりするのが、ちょっとだけこわかったです。車いすでバスケットゴールにシュー





トをしてみました。車いすにすわると、ゴールがとっても遠かつたです。車いすバスケットボールの選手は、すごいなと思いました。
 (前迫 将翔)

ふくし体けんで、アイマスクと車いすの体験をしました。車いすは、ふくしきょううぎかいのお兄さんとやつたけれど、アイマスクはゆうせいさんとやりました。一番大事なのは。声かけだと言っていました。ぼくは、きょ年の夏休みにもふくし体けんに行きました。また行きたいです。

(竹野 伊弦)

《栗野中学校》

ぼくは介護体験学習をして、よく障がいの方の気持ちがよく分かりました。まず、車いす体験では押してくれる人が声をかけてくれたり、安全な道を行ってくれたりしたので、困っている人の気持ちと助ける方法がよく分かりました。でも、一人で動かすことがむずかしかつたりして、まだ困ることがたくさんあったので、困っている人を見かけたら、すぐに助けに行きたいです。アイマスク体験

の方では見えなくて不安や恐怖の気持ちがあることが分かりました。付き添いの人がいても不安だったで、一人で困っている人を見た声をかけようと思いました。それに、街などの点字ブロックの上では歩かないようにしようと思いました。

(東 大地)

ぼくは、この体験を通して優しい声かけが大切だと思いました。段差があるときは、「段差があるので足元に気を付けてください」と言つたり、階段がある時は「階段が何段あるので足元に気をつけてゆっくり行きましょう」など、車いすの方とスロープを下るときは、「スロープを下ります」とつたり少しでも揺れた時は、「大丈夫ですか」など優しい声かけをすることが大切だと思いました。

(池田 圭孝)

私はこの体験を通して心に残ったことがあります。まず、車いすを押して進めるのは、簡単ではないということです。初めてこの体験を通してみて障害者や老人の方の手助けは全部思い通りにはいか

ないことが分かりました。次にアイマスクをして視覚障害者の気持ちが少しだけ分かったことです。何かわからない状態では不安なことが感じ取れました。不安な段差があるところなど、今どこに段差があるのか、どこに段差があるのかわからぬこと、段差があると感じ取れました。不安な気持になってしまふと感じました。勇気を出して少しでも助けられるといいな、と思いました。私は助けられた側についたとき、「相手の二一ズに合わせて活動する」「声をかける」この2つを重点的に意識して活動することができました。

(久米田 莉那)



地域支え合い活動



～四部落老壮クラブカボチャサロン～ (下川西地区)

8月22日、下川西地区四部落老壮クラブの皆さんが、苗から大事に育てたジャンボカボチャをそれぞれ下川西コミュニティセンターに持ち寄り、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、形・重さを競うカボチャサロンを実施されました。皆さんのカボチャの重さを量り順位をつけたり、一つのカボチャを前に置いて、どのくらいの重さなのかをそれぞれ紙に書いて当てる等、賞品も配られて楽しい時間を過ごされていらっしゃいました。また、大きくて形のいいものを話し合いで選ばれる等、四部落老壮クラブの皆さんが和やかな雰囲気の中で活動されている姿が印象的でした。今後も是非、サロン活動として続けて頂きたいです。



赤い羽根共同募金運動実施中

今年も10月1日から12月31日まで全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が始まりました。

この運動は、第2次世界大戦後に「国民たすけあい運動」として始まり、生活に困った人たちを共済しようと、昭和22（1947）年からスタートしたものです。時代のニーズに合わせて、その使い道も変遷してきました。

現在では、様々な地域の課題解決に取り組む民間団体を支援する「じぶんの町をよくするしくみ」として、地域の福祉活動を支援しています。

湧水町社会福祉協議会でも、より良い地域づくりのために、様々な事業に取り組んで参りますので、皆様のご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

※皆様から頂いた募金は、鹿児島県共同募金会へ送金し、翌年、福祉活動資金として配分され、各市町で配分金として地域福祉活動資金に使われます。湧水町では、下記の事業を実施しています

- | | | |
|----------------|----------------------|---------------|
| ○独居老人誕生日訪問事業 | ○おせち料理配付事業 | ○洗濯乾燥消毒サービス事業 |
| ○ふれあいいきいきサロン事業 | ○社会福祉大会 | ○ひとり金婚者の集い |
| ○ボランティア活動事業 | ○ボランティア協力校（小・中学校）助成金 | |
| ○各種団体助成金 | ○地域福祉部（各地区福祉部）助成金 等 | |

ファミリーサポートセンターからの お知らせ

ファミリーサポートセンターでは『子どもの預かり・送迎等の援助をしてほしい方（依頼会員）』と『子どもを預かり、送迎支援等のお手伝いをして下さる方（提供会員）』が会員として登録し、お互いに育児を支え合うことにより、地域全体で安心してゆとりある子育てができる環境をみんなで作っていく相互援助活動を行っています。

提供会員募集中です !!

- ★湧水町在住の方
- ★心身ともに健康で熱意を持って活動して頂ける20歳以上の方
- ★センターで実施する講習を受け登録した人
- 子育てが一段落した方、地域での子育て支援に興味のある方、子育てしやすい町づくりを目指してみなさんのご協力を待ちしております。

提供会員に登録すると…

- ★30分から活動ができます！
- ★補償保険に加入するので安心して活動ができます！
- ★子育てや援助方法について学べます！
(幼児救急法などの講習会を年に2回開催しております)
- ※登録にはセンターで実施する講習を受ける必要があります。



活動についての気になる点や些細なこと、なんでもご相談ください。

お問い合わせ・申し込み

◎湧水町社会福祉協議会

姶良郡湧水町川西 3079-2

T E L : 75-2200

◎ファミリーサポートセンターゆうすい よしまつふれあいの家

姶良郡湧水町中津川 447-4

T E L : 75-2811

F A X : 73-7557



タオル寄贈



湧水町老人クラブ吉松地区女性部から、タオルを寄贈して頂きました。シルバーケンタで、有効に活用させて頂きます。ありがとうございました。

全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術保険金	65,000円	
	外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円	
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	×	○
	賠償責任保険金（対人・対物共通）	5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円

商品パンフレットは
コチラ



(ふくしの保険)
ホームページ

団体割引 20%適用済／過去の損害率による割増引適用

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険

（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償！

送迎サービス補償

（傷害保険）

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償！

福祉サービス総合補償

（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償！

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

（引退幹事）
損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
受付時間：平日の 9:30～17:30 (12/29～1/3 を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一緒にして締結する団体契約です。

（SJ20-12303 2020.12.28作成）